

## タブレットを用いた当クリニックでの COVID-19 診察の取り組みについて

### 【はじめに】

当院は呼吸器内科を中心にした一般内科クリニックである。発熱外来当初は対面での診療を行っていたが、受診者数の増加に伴い、PPE (personal protective equipment) 脱着による対面診療は医療スタッフの疲弊と感染リスクを増大させ、また、一般外来の診察にも支障をきたすようになった。そのため、発熱外来に関しては 2020 年 12 月からタブレットを用いたリモート診療へ変更することとした。

以後、腹診、脈診をせず、問診、舌診に基づいて処方を行っている。

今回、当院の発熱外来において、漢方薬処方を行った症例のうち、後に COVID-19 の PCR 検査が陽性と判明した 13 症例について報告する。

### 【発熱外来の流れ】

COVID-19 疑いのある患者から受診希望の連絡があった場合、可能な限り自家用車で来院するよう依頼しドライブスルー方式で対応している。また、徒歩で来院した患者に関しては、駐車場に設置したテント内で対応している。

また、クリニック入口に、看護師 1 人と事務員 1 人が常駐し、受診時に発熱や咳嗽・喀痰・呼吸苦・咽頭痛・倦怠感・下痢等を訴える患者は駐車場内に設置したテント内の発熱外来へ案内し、電話による問診に切り替えている。発熱外来の流れを図 1 に示す。

電話問診は看護師が行っている。項目については、表 1 に示す。

バイタルサイン測定では、極力接触をさけるため、非接触性体温測定とパルスオキシメーターによる酸素飽和度 (SpO<sub>2</sub>) と脈拍測定を行う。

上記の問診、バイタルサインを測定の後、医師によるリモート診察となる。

詳細な病歴を聴取し、舌診を行い、漢方薬等の処方を決定した。

COVID-19 の唾液 PCR 検査結果は、長くとも 4 日ほどで判明することから、処方日数は 4~5 日分とした。

### 【漢方薬処方決定】

処方の決定には、小川<sup>1)</sup>、加島ら<sup>2)</sup>、立花<sup>3)</sup>の処方を参考とし、表証の有無、柴胡剤使用の指標となる症状の有無の他、呼吸器症状、頻脈の有無、下痢等の症状を考慮した。

なお、今回処方した漢方薬は、すべて株式会社ツムラのエキス製剤であった。

解熱剤としては希望に応じてアセトアミノフェンを処方した。鎮咳薬としては、デキストロメトルファンを適宜処方した。

### 【結果】

2021 年 1 月から 4 月末日までの当院発熱外来の受診者数は 1016 人であった。COVID-19 疑いで唾液 PCR 検査を施行した症例は 732 人であり、そのうちの 71 人 (9.7%) が COVID-19 PCR 陽性であった。他院で COVID-19 の診断がついた 1 例を含めて漢方薬処方を行った 13 症例の背景・症状・所見ならびに経過を表 2 に示す。

男性 10 人、女性 3 人、年齢は 19 歳から 57 歳までで、平均年齢 36.7 歳であった。

厚労省の新型コロナウイルス感染症診療の手引き4)に基づいた重症度分類では、中等症Iに該当するものが1人であり、他は皆、軽症者であった。

基礎疾患を有する患者は4症例で高血圧・睡眠時無呼吸症候群、甲状腺機能低下症、食物アレルギーの症例であった。

13人中3人、症例B、D、Lが入院となっていた。

症例Bは当院受診前日に下痢があり、受診当日には呼吸苦を訴えていた。

症例Dは発症5日目に当院受診し、腹痛、下痢と往来寒熱が認められていた。

症例Lは微熱と咳鼻水で受診し、翌日より味覚異常、徐々に低酸素血症となり入院となった。

内服薬については、症例Cを除く12症例に柴胡剤を処方した。

入院した3症例を除き、経過は良好で、処方薬内服後、当日より解熱する症例もあり、ほとんどの症例では2~3日以内に症状は改善・軽快していた。

最終調査の時点で後遺症が確認されているのは、症例Lの味覚障害のみであり、改善傾向とのことである。

各症例の処方選択の概要について下記に記す。

症例Aでは、自汗、寒気、咽頭痛があり、桂枝湯+小柴胡湯加桔梗石膏を使用した。

症例Bは咳・白色痰があり、寒気がなく、柴胡桂枝湯+麻杏甘石湯を使用した。症例Bは前日に下痢があった症例で、その後1週間入院を要した。

症例Cは5日間持続する往来寒熱と強い口渇(唾液が出ない)全身のほてり、煩躁、尿が少なくなり(尿不利)、舌が赤いなどか

ら、発熱による津液(陰液)損傷があると考え、清熱滋陰を念頭に検討。COVID-19は早期に肺炎を引き起こすということで肺熱を強力に冷ます作用のある石膏が一番多い方剤として白虎加人参湯を選択した。

症例Dは症例Cの夫である。5日間の往来寒熱の末に来院。高熱と腹痛下痢があり、半夏瀉心湯や茯苓四逆湯なども検討したが、柴胡湯を投与した。しかし翌日も下痢が頻回であり、入院となった。

症例Eは鼻閉があり鼻水が白色であったことから、葛根湯加川芎辛夷+小柴胡湯加桔梗石膏を使用した。

症例F、G、Hは、自汗がなく、頭痛や関節痛・項部痛などの表証があり、寒気、咽頭痛が認められたことから、葛根湯+小柴胡湯加桔梗石膏を使用。

症例Iは、自汗はあったが軽度であり、頭痛・後背部痛・項部痛があったので同様の処方を行った。

症例Jは前日に他院でCOVID-19陽性診断有り。受診日に発熱・強い倦怠感・咳嗽・自汗・深呼吸がしづらいという訴えがあった。麻杏甘石湯+小柴胡湯加桔梗石膏+茯苓飲合半夏厚朴湯を処方。清肺排毒湯を念頭に使用した。

症例Kは症例Eと同様の症状であったため葛根湯加川芎辛夷+小柴胡湯加桔梗石膏を処方した。

症例Lは、鼻水、鼻閉があり、夕方になると出現する倦怠感や頭痛、乾性咳があり、麻杏甘石湯+小柴胡湯加桔梗石膏を処方した。本症例は翌日から味覚障害、往来寒熱が出現し、4日後入院。味覚障害の後遺症が認められた。

症例Mは、症例Bと同様の症状であり、柴胡桂枝湯+麻杏甘石湯を使用した。

## 【考察】

東洋医学的な診察上、望聞問切は重要であることは明らかであるが、感染力の強い疾患を持つ患者への接触は医療スタッフの感染リスクを伴い、受診者数が増加すると更にそのリスクは高まる。スタッフ保護の観点から、タブレットを用いたリモート診療へ変更することとしたが、腹診、脈診をせず、問診、舌診で処方を選択しなければならなくなった。

漢方薬の処方決定に際しては、前述の小川や加島、立花らの論文等を参考としたが、問診時には、表証では、寒気、頭痛、関節痛等に加えて、自汗の有無を詳細に確認した。具体的には自汗はあるか、汗は全くなく皮膚はさらさらしているのか、しっとりしているのか、自汗がある場合も解熱剤を飲まずに汗をかいたか等を確認した。また舌診については、タブレットを介して、舌苔の色、量、舌の乾燥状態、舌質を確認した。

今回経験したほとんどの症例で受診時に倦怠感、食欲低下が認められていたことから、表証から少陽病期へ移行していると考え、太陽病期の方剤に柴胡剤を併用することで改善が認められた。しかし下痢症状を認めた2症例では入院することとなった。下痢をする段階では病期がより進行しており、悪化しやすいのではないかと考えた。また症例Lは、受診時の症状が比較的軽微で、麻杏甘石湯と小柴胡湯加桔梗石膏の2剤を選択したが、日中だるさはなく、夜になるとだるさや頭痛がでるという問診の情報と、頻脈があることから、症例Jに用いたように清肺排毒湯により近い処方に変更していたほうが望ましかったかもしれない。その後、内服4日目のホテル療養中にSpO<sub>2</sub>が90%まで低下したとのことで入院となった

が、入院当日には肺炎を認めたが室内気下でSpO<sub>2</sub>は95%に改善していた。発熱や低酸素血症がなくても、下痢や頻脈傾向がある場合にはCOVID-19疑いの段階では重症化する可能性があることを考慮して、舌診で膩舌を認めるような場合には湿熱のことも考えて処方選択をした方が良いのではないかと考える。さらに経験したほとんどの症例で、COVID-19が全身への症状の進み具合が早い印象があることと、石膏が肺熱を含む身体内部の熱を冷ます作用がある<sup>2) 5)</sup>という報告から石膏を含む製剤を積極的に使用したが、これも有用ではないかと考えている。

COVID-19の症例の多くが、無症状や軽症で軽快することも知られており、今回、経験した症例の多くは自然軽快した可能性は否定できない。しかし、内服開始の当日ないし翌日には自覚症状が改善する例も経験したことから、早期回復に寄与したのではないかと考えている。リモート診療における課題はまだ多いが、今後さらに症例を増やして、報告したい。

## 【参考文献】

- 1) 小川恵子：COVID-19 感染症に対する漢方治療の考え方 日本感染症学会 特別寄稿
- 2) 加島雅之：早野聡史 岩越 一 COVID-19 に対して漢方薬が重症化抑制に寄与できた可能性を示す2例 2020年4月30日公開
- 3) 立花英俊：山本巖流漢方による傷寒温病診療マニュアル メディカルユーコン
- 4) 厚労省：新型コロナ感染症の診療の手

5) 寺澤捷年：症例から学ぶ和漢診療学

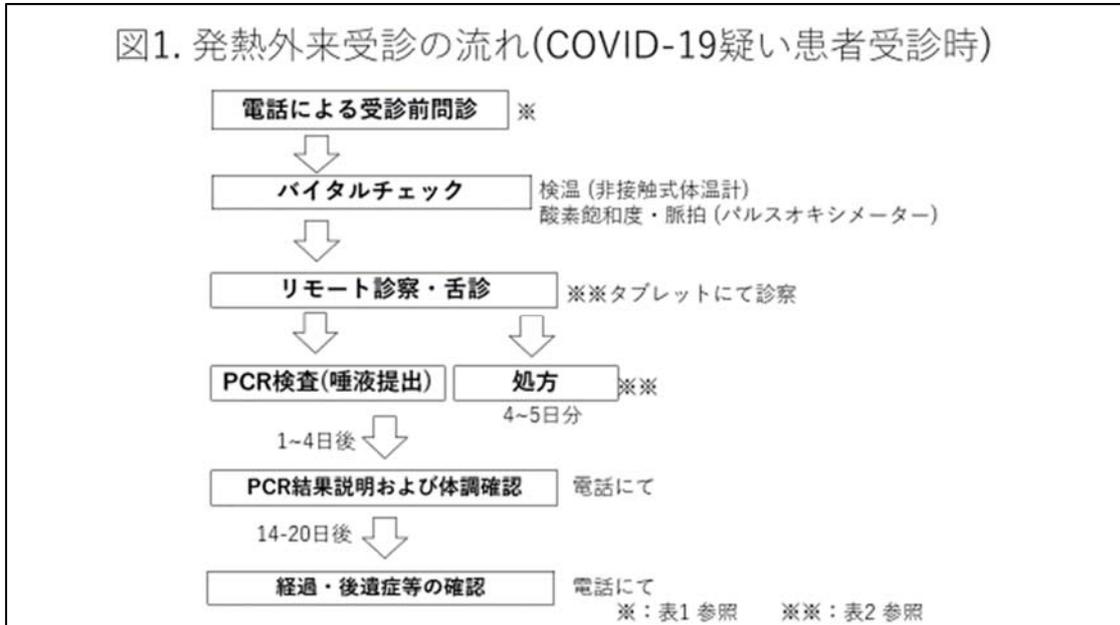


表1. 診察前の電話問診

症状	患者背景
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱</li> <li>・咳嗽</li> <li>・喀痰 (+/-) (白色/黄色)</li> <li>・息苦しさ</li> <li>・労作時の息切れ</li> <li>・咽頭痛</li> <li>・鼻閉・鼻汁</li> <li>・食欲低下</li> <li>・下痢</li> <li>・倦怠感</li> <li>・味覚異常</li> <li>・嗅覚異常</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎疾患</li> <li>・職業</li> <li>・常用薬</li> <li>・感冒薬の使用状況</li> <li>・アレルギー</li> <li>・COVID-19罹患者との接触</li> <li>・同居人の有無</li> </ul>

表2. 13症例の背景・症状・所見・経過

年齢	性別	基礎疾患の有無	発症日	体温	脈	血圧	酸素飽和度	寒気	頭痛/後背部痛/関節痛	鼻汁/鼻閉	倦怠感	咽頭痛	咳嗽/喀痰	呼吸苦/息切れ	消化器症状	自汗	往來感熱	舌苔(白苔)	処方内容	経過	備考
A	25	男性	(-)	当日	39.0	89	97	(+)	(+)/(+)/(+)	(+)/(+)	(+)	(+)	(+)/(+)少	(-)/(+)	食欲不振	(+)	(-)	中等度	桂枝湯 小柴胡湯 桔梗石膏	当日より改善	
B	31	男性	(-)	2日前	37.0	117	98	(-)	(-)/(+)/(+)	(+)/(+)	(-)	(-)	(+)/(+)少	(+)/(+)	食欲不振 下痢1回	(+)	(+)	中等度	柴胡桂枝湯 麻吉甘石湯	翌日入院(呼吸苦にて)	入院1週間
C	55	女性	食物アレルギー- 無呼吸 症・高血圧	5日前	37.4	97	98	(-)	(-)/(+)/(+)	(+)/(+)	(+)	(+)	(+)/(+)	(-)/(+)	嘔気 (++)	咳嗽時 (+)	(+)	微白苔 乾燥(++) 舌質 紅	白虎加入参湯	4日後口渇残存するも、8日後全て症状消 全身ほてりなどは改善	失
D	56	男性	(-)	5日前	36.1	89	98	(+)	(-)/(+)/(+)	(-)/(+)	(+)	(-)	(-)/(+)	(-)/(+)	食欲不振 腹痛下痢	(+)	(+)	黄白色 中等度-膩	麻苧湯	翌日入院(下痢 発熱にて)	入院2週間
E	27	男性	(-)	2日前	38.0	70	98	(-)	(-)/(+)/(+)	(+)/(+)	(+)	(-)	(-)/(+)	(-)/(+)	食欲不振	(-)	(-)	中等度 (舌根部)	葛根湯加川芎 小柴胡湯加桔梗石膏	2日後 症状消失	
F	36	男性	(-)	2日前	36.3	109	95	(+)	(+)/(+)/(+)	(-)/(+)	(+)	(+)	(+)/(+)少	(-)/(+)	食欲不振	(-)	(-)	中等度	葛根湯 小柴胡湯加桔梗石膏	2日後 症状消失	
G	29	女性	(-)	2日前	38.6	90	98	(+)	(+)/(+)/(+)	(-)/(+)	(+)	(+)	(-)/(+)	(-)/(+)	食欲不振	(-)	(+)	中等度	葛根湯 小柴胡湯加桔梗石膏	2日後 症状消失	
H	50	女性	甲状腺機能低下症	4日前	36.7	88	98	(-)	(-)/(+)/(+)	(+)/(+)	(+)	(-)	(-)/(+)	(-)/(+)	食欲不振	(-)	(+)	微~中等度	葛根湯 小柴胡湯加桔梗石膏	3日後症状消失	
I	26	男性	(-)	1日前	36.1	86	98	(+)	(+)/(+)/(+)	(-)/(+)	(+)	(+)	(+)/(+)少	(-)/(+)	食欲不振	(+)	(-)	微白苔	葛根湯 小柴胡湯加桔梗石膏	2日後微熱	
J	22	女性	(-)	当日	38.2	101	98	(-)	(+)/(+)/(+)	(-)/(+)	(++)	(-)	(+)/(+)少	(+)/(+)	食欲不振	(+)	(-)	白色膩苔	麻吉甘石湯 小柴胡湯加桔梗石膏 茯苓散合半夏厚朴湯	翌日症状消失	
K	19	男性	(-)	2日前	38.3	89	98	(-)	(-)/(+)/(+)	(+)/(+)	(+)	(-)	(-)/(+)	(-)/(+)	(-)	(-)	(+)	微~中等度	葛根湯加川芎 小柴胡湯加桔梗石膏	2日後症状消失	
L	44	男性	無呼吸 症・高血圧・ 高脂血症・ 多血症	2日前	35.9	104	96	(-)	(+)/(+)/(+)	(+)/(+)	(+)	(-)	(+)/(+)少	(-)/(+)	(-)	(+)	(-)	中等度	麻吉甘石湯 小柴胡湯加桔梗石膏	受診翌日より味覚障害 と往來感熱出現 受診 3日後SPO2:90%、受 診4日後SPO2:95% に戻るも肺炎にて入院	2週間入院 味覚障害の後遺症 あるもだいふ改善 その他症状改善
M	57	男性	(-)	2日前	35.9	65	97	(+)	(-)/(+)/(+)	(+)/(+)	(+)	(-)	(+)/(+)	(-)/(+)	(-)	(+)	(-)	中等度	柴胡桂枝湯 麻吉甘石湯	翌日症状消失	